



しばやま 日 び より 和

このコーナーでは、町で行われたイベントなどを紹介します。



航空講話事業（小・中学校）

航空科学博物館において開催された「成田国際空港と空港の仕事を知る講座」。芝山中学校1年生と芝山小学校6年生が成田国際空港の役割や将来像、働く人々の仕事などについて学びました。

11月30日に参加した中学生は、仕事をする上でのやりがいや大変なこと、空港内で実施しているSDGsの取り組みなどさまざまな内容に対する質問を行い、一人一人が自身

の将来やこれからの進路について考えるきっかけとなりました。

12月1日に参加した小学生は、グランドハンドリングや旅客業務、ケータリング業務についての仕事紹介や業務の模擬体験などを行いました。児童たちは「今まで知らなかったことを知って、空港の仕事に興味がわいた」「学んだことを今度利用するときに生かしたい」と目を輝かせました。



▲真剣な表情で説明を聞く中学生（11月30日）



▲マーシャリング体験に挑戦（12月1日）



▲機内食を運ぶフォークリフト車にびっくり(12月1日)

芝山町武道大会(空手の部)

12月4日、農業者トレーニングセンターを会場に開催された「芝山町武道大会(空手の部)」。

大会には、芝山町を拠点に活動する空手道白真会の選手たちが参加し、今後のさらなるレベルアップに向けての試合を行いました。

また、防具を付ける手伝いや仲間を鼓舞するため率先して声を出す上級生の姿や、先輩たちの力強く勇ましい技を目に焼き付ける下級生の姿も見られ、それぞれの選手が心技ともに成長する機会となりました。

当日は、どの試合も最後まで目を見張る熱戦が繰り広げられ、一生懸命戦う選手たちの姿に会場からは大きな拍手と声援が送られました。



▶ライバル同士の負けられない戦い



▶稽古の成果を発揮!



▲息を合わせて、それっ、ぺったんこ！

みつば幼稚園餅つき

12月10日、みつば幼稚園において実施された「餅つき」。釜でふっくらと蒸しあげられたもち米を臼と杵を使ってぺったん、ぺったん。園児たちは、杵の重たさと慣れない動作に少し戸惑いながらも、ちゃんとお餅になるようにとみんなで力を合わせて頑張りました。また、保護者の方や先生たちの餅つきを間近で見学すると、その迫力のすごさに興味津々、大興奮の様子でした。

餅つきを終えた後は、お昼ごはん「お雑煮」を食べました。自分でついたお餅の味はまさに格別。お友達と一緒においしく楽しいひと時を過ごすとともに、幼稚園に一足早いお正月が訪れました。

子育て支援センター安全祈願祭

11月18日、「子育て支援センター安全祈願祭」が実施されました。祈願祭には、建設を担当する株式会社真行寺建設の方々や芝山町長などの関係者が参加し、ここまで無事に工事が完成したことに対して感謝するとともに、今後の安全な建設への祈願を行いました。

現在建設中の子育て支援センターは、令和4年度にオープン予定で、支援室の面積拡充だけでなく、子ども用トイレや授乳室、外遊びができる園庭などが設置されます。また、一時保育室や子育て世代包括支援センターの相談室も併設され、子育て支援のさらなる充実を図ります。



▲安全祈願祭の様子



▶出発式の様子

11月25日、スーパーセイミヤ成田芝山店において「移動スーパーとくし丸出発式」が実施されました。式典にて、株式会社セイミヤの加藤社長は「県内15台目となるとくし丸が、毎日の買い物に苦勞さされている高齢の方や身体の不自由な方などの一助になれば」と話されました。

その後とくし丸は、鮮魚や肉、野菜だけでなく惣菜、お菓子、日用品など約400品目を搭載し、成田芝山店のスタッフや山武警察署長、芝山町長らが見守る中、軽快な音楽とともに出発しました。

また、とくし丸の営業開始に伴い、見守りをはじめ防犯、交通安全など、地域住民の安全安心に係る活動協力についての申し出を受け、株式会社セイミヤ、山武警察署、芝山町との三者による「安全で安心なまちづくりに関する協定」を締結しました。

移動スーパー「とくし丸」出発式



▶協定書を手に写真撮影をする三者